

令和6年度 I Rいしかわ鉄道の利用促進について

第2回 I Rいしかわ鉄道利用促進協議会

I R いしかわ鉄道利用促進協議会のスケジュール

協議会スケジュール

5/22 第1回 利用促進協議会

協議会立ち上げ。各委員より利用促進策提案・意見交換

6/14～7/4 アンケート調査の実施

利用促進策に関するアンケートを実施

7/28 第1回 企画経営部会

各団体が令和6年度利用促進策を提案

↓
利用促進策の詳細検討
市町及び事業者と連携事業について調整

12/26 第2回 企画経営部会

令和6年度利用促進策（部会案）の決定

2月 第2回 利用促進協議会（書面開催）

企画経営部会（案）の提示
令和6年度利用促進策の決定

3/16 金沢以西延伸開業

第1回利用促進協議会 主な意見

- IRいしかわ鉄道と他交通事業者との乗継割引ができないか
- 駅を中心とした「MaaS」に向け、関係機関一体となった取組が重要
- 富山県、福井県との連携による広域観光の実現
- 新幹線で訪れた観光客を県内全域に周遊させるための仕掛けが必要
- 車両基地見学やマスコットキャラクターの活用など子どもが親しみやすい利用促進策が重要
- 鉄道に乗ってワクワクするような企画があれば地域の活性化につながる
- イベント等で駅が賑わうと鉄道利用者も増えるのではないか
- 無人駅の活用が重要。常時人がいるサービスがあるといい

I R いしかわ鉄道利用促進アンケート調査結果

対象：石川県在住の方 時期：6/14～7/4

方法：石川県電子申請システム 回答数：865件

- 利用回数
年1回以上:60% 月1回以上:20% 週1回以上:20%
- 利用目的
観光・レジャー:42% 買い物:24% 通勤通学:20% その他:14%
- 運行に期待すること
他交通との乗り継ぎ利便性向上:55.4% 運行本数の増:42.3% ほか
- 利用するための取組
企画きっぷの販売:48.1% イベント列車の運行:35.1% ほか

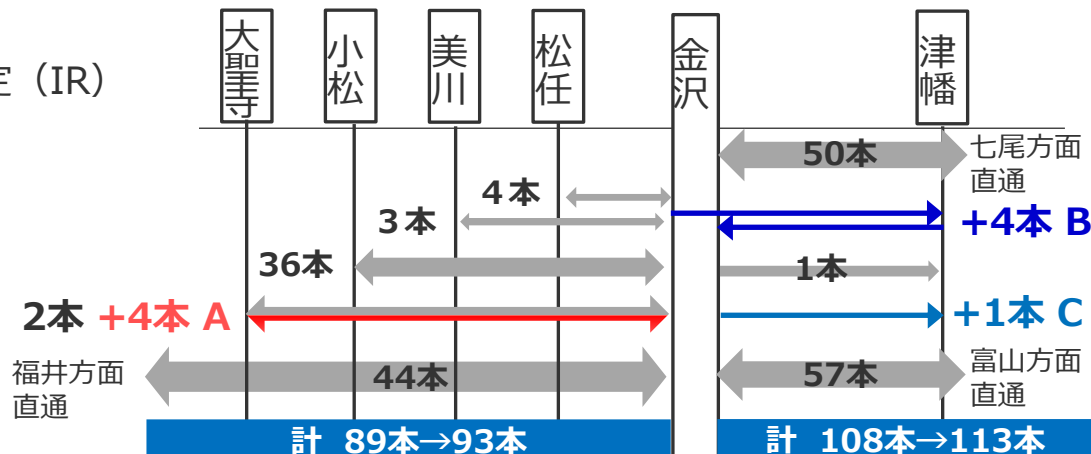
令和6年度 利用促進策 1.利便性の向上

意見 (第1回協議会) IRいしかわ鉄道と他交通事業者との乗継割引ができないか
 駅を中心とした「MaaS」に向け、関係機関一体となった取組が重要
 (アンケート) 西金沢方面から東金沢方面への直通列車を運行してほしい
 東京発最終「かがやき」に接続する金沢発津幡行列車を運行してほしい

● 利用者の利便性に配慮したダイヤ編成

沿線自治体等からの要望を踏まえ、下記の通り増便を予定 (IR)

- A 朝夕の金沢-大聖寺間の増発 (2往復：4本)
- B 朝夕の松任・小松発-金沢止まりの列車を津幡まで延伸 (2本)、金沢まで折り返し (2本)
- C 北陸新幹線の最終便と接続する金沢発-津幡行きの増発 (1本)



● 沿線市町コミュニティバス等との連携

沿線住民の利便性向上を図るとともに、乗り換え利用の利便性を周知することにより、さらなる利用促進を図る (沿線7市町、IR)

- 金沢市：「チョイソコかなざわ」「おおらっこ・かわきた号」の定期券購入者にIR回数券配布を検討
- 小松市：自動運転バス (小松空港～小松駅間) との連携を検討
- 加賀市：市内公共交通機関との連携を検討
- 白山市：IR定期券購入者に「めぐーる」回数券配布を検討
- 能美市： 「のみバス」運賃割引を検討
- 野々市市： 「のっティ」回数券配布を検討
- 津幡町：AIオンデマンドバス「のるーと津幡」との連携を検討



● 北陸鉄道石川線との乗継割引デジタルきっぷの販売 (デジタル交通アプリ「のりまっし金沢」を活用)

IRいしかわ鉄道 (西金沢～金沢) ～北鉄石川線各駅の8時間乗り放題きっぷ販売 (金沢市、白山市、野々市市、IR、北陸鉄道)


令和6年度 利用促進策 2.二次交通としての利用促進

- 意見** (第1回協議会) 富山県、福井県との連携による広域観光の実現
新幹線で訪れた観光客を県内全域に周遊させるための仕掛けが必要
(アンケート) 七尾線やのと鉄道との連携を強化してほしい
レジャーに使える企画きっぷの販売を行えば利用が増えるのではないか

●北陸3県周遊促進「開業記念キャンペーン」

北陸新幹線の敦賀延伸に伴い、北陸3県の並行在来線が繋がることから、『開業記念キャンペーン』を実施
(北陸3県及び各並行在来線会社)

R6.3.16開業	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
開業から1年間、切れ目ないキャンペーンを実施				
<ul style="list-style-type: none">・MaaSアプリを使った共通デジタルフリーきっぷの販売・ " " モデルコースの発信・車内広告を活用した3県相互の観光PR			<ul style="list-style-type: none">・あいの風観光列車三県横断運行・3県スタンプラリー共同実施	



●県内鉄道連携「謎解きイベント」の開催（周遊促進事業）

観光客の県内周遊性を高め、県内全域の活性化を図るとともに、列車に乗ること自体を目的化し、鉄道で県内周遊する楽しみを体感してもらう（県、IR、JR西日本、北陸鉄道、のと鉄道）

開催期間：令和6年 夏～秋頃

県内の全鉄道事業者が連携し、各コースで利用できるデジタルフリーきっぷを販売

●新たな企画きっぷの造成

- ・白山市立高速鉄道ビジターセンターと連携した企画きっぷ（白山市）（R6.3～）
- ・開業を記念した企画きっぷ（小松市・能美市）（R6.3～）
IRフリーきっぷと2市の二次交通を組み合わせたきっぷ

令和6年度 利用促進策 3.マイルール意識の醸成

- 意見** (第1回協議会) 車両基地見学やマスコットキャラクターの活用など子どもが親しみやすい利用促進策が重要
鉄道に乗ってワクワクするような企画があれば地域の活性化につながる
- (アンケート) 子どもは鉄道が好きな子が多いので、子ども向けのイベントをもっと開催してほしい
いしてつ愛あーるクラブの特典を充実してほしい

●公式マスコットキャラクター「あいまるくん」を活用した広報

IRいしかわ鉄道への親しみをもってもらうため、公式マスコットキャラクター「あいまるくん」を活用した広報の展開 (IR)

オリジナルグッズの作成 (記念ICOCAなど)
IRいしかわ鉄道車両へのラッピング
各種イベントへの着ぐるみ出演 など



●地域で支えるサポーター制度のリニューアル (R6.3~)

『いしてつ愛あーるクラブ』をアプリ化。新たに、鉄道利用やイベント参加に応じたポイント制度を導入
貯めたポイントは、景品が当たる抽選への応募等に使用可能 (IR)

- ① 鉄道利用ポイント : IR線を利用して貯めるポイント。(金沢百番街等で使用できる) WESTERポイント等への交換が可能
- ② イベント参加ポイント : 車両見学会や鉄道フェスタ等に参加して貯めるポイント。IRグッズ等の景品が当たる抽選への応募が可能
- ③ 広報機能 : IRの定期広報誌やイベント情報、企画きっぷ発売など、お得な情報を周知

●子どもたちに鉄道に親しんでもらう機会の充実

電車や車両基地を最大限活かした鉄道事業者にはしかできないイベントを継続的に実施 (IR)

(再掲) 県内鉄道4社連携「謎解きイベント」の開催
幼児や小学生を対象とした車両見学会の開催
地元向けイベント列車の運行

など



令和6年度 利用促進策 4.駅を中心としたまちづくり

意見

- (第1回協議会) イベント等で駅が賑わうと鉄道利用者も増えるのではないかと
無人駅の活用が重要。常時人がいるサービスがあるといい
- (アンケート) 駅に行くことが目的となるようなイベントを開催してほしい
駅に(カフェ等の)有意義に電車を待てるスペースを作ってほしい

●沿線市町連携(仮称)IRいしかわ鉄道マルシェの開催

駅周辺でのイベントの開催により、日頃、IR線を利用しない人の乗車機会を提供。各駅でイベントを同日開催することによる相乗効果でIR線全体の賑わいを創出し、鉄道利用層の拡大を図る。(県、IR、沿線7市町)

- 開催日時：令和6年10月13日(日)～14日(月) ※調整中
沿線市町：各市町1駅以上でイベントを開催(鉄道フェスタも同時開催)
I R：割安な1日フリーきっぷを販売



●無人駅を活用した賑わい創出

駅は、まちの玄関口、交流の拠点であり、地域のまちづくりにとって欠かせない存在であるため、「人が集う場所」として積極的に活用することで、地域の活性化と駅の賑わい創出を図る。(沿線7市町)

- 金沢市：森本駅前の賑わい創出に取り組む
地域おこし協力隊員の募集
- 加賀市：動橋駅の利活用を検討
- 能美市：能美根上駅の利活用を検討、
サウンドロゴの変更を検討
- 野々市市：野々市駅周辺施設を活用した賑わい創出を検討

●駅へのアクセス向上・駅周辺の整備(沿線7市町)

駅名	市町	整備内容
津幡駅	津幡町	東西自由通路(R8)、東口広場(R8)
金沢駅	金沢市	兼六園口の歩行空間に「木の彩り」を付加 (ストリートファニチャー(ベンチ)等の整備) (R6-7)
西松任駅	白山市	パークアンドライド駐車場設置(R6)
加賀笠間駅	白山市	西口駐車場等(R7)、東西自由通路(R8)
能美根上駅	能美市	駐車場増設検討
小松駅	小松市	歩行者用シェルター、駅西広場整備 (R6)
粟津駅	小松市	駅東広場(R8)、 東西自由通路・駅西広場 (R10)
加賀温泉駅	加賀市	駅前広場、駐輪場、駐車場整備、 南北自由通路改修 (R6)

令和6年度 利用促進策 まとめ

第1回協議会 主な意見

アンケート 主な意見

令和6年度の主な取り組み

1. 利便性の向上

- IRいしかわ鉄道と他交通事業者との乗継割引ができないか
- 駅を中心とした「MaaS」に向け、関係機関一体となった取組が重要
- 西金沢方面から東金沢方面への直通列車を運行してほしい (50代 野々市市)
- 東京発最終「かがやき」に接続する金沢発津幡行列車を運行してほしい (50代 金沢市)

2. 二次交通としての利用促進

- 富山県、福井県との連携による広域観光の実現
- 新幹線で訪れた観光客を県内全域に周遊させるための仕掛けが必要
- 七尾線やのと鉄道との連携を強化してほしい (20代 七尾市)
- レジャーに使える企画きっぷの販売を行えば利用が増えるのではないかと (30代 金沢市)

3. マイレール意識の醸成

- 車両基地見学やマスコットキャラクターの活用など子どもが親しみやすい利用促進策が重要
- 鉄道に乗ってワクワクするような企画があれば地域の活性化につながる
- 子どもは鉄道が好きな子が多いので、子ども向けのイベントをもっと開催してほしい (30代 白山市)
- いしてつ愛あるクラブの特典を充実してほしい (20代 金沢市)

4. 駅を中心としたまちづくり

- イベント等で駅が賑わうと鉄道利用者も増えるのではないかと
- 無人駅の活用が重要。常時人がいるようなサービスがあるといい
- 駅に行くことが目的となるようなイベントを開催してほしい (40代 金沢市)
- 駅に（カフェ等の）有意義に電車を待てるスペースを作ってほしい (30代 金沢市)

- 利用者の利便性に配慮したダイヤ編成
- 沿線市町コミュニティバス等との連携
- 北陸鉄道石川線との乗継割引デジタルきっぷの販売
- 北陸3県周遊促進「開業記念キャンペーン」
- 県内鉄道連携「謎解きイベント」の開催
- 新たな企画きっぷの造成
- 公式マスコットキャラクター「あいまるくん」を活用した広報
- 地域で支えるサポーター制度のリニューアル
- 子どもたちに鉄道に親しんでもらう機会の充実
- 沿線市町連携（仮称）IRいしかわ鉄道マルシェの開催
- 無人駅を活用した賑わい創出
- 駅へのアクセス向上・駅周辺の整備